〈2025.4.1～2025.9.30〉
2025年度上半期ミニディスクロージャー誌

だいしんレポート

DAISHIN DISCLOSURE

だいしん
大分信用金庫

ごあいさつ

会　長

理事長

皆様方には、平素より「だいしん」大分信用金庫をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

さて、今上半期におけるわが国の経済情勢は、4月に大阪・関西万博が開幕したことからインバウンド需要が増加し、9月には来場者数が2千万人を突破するなど、連日大きな賑わいを見せました。「金利ある世界」が定着する中、日経平均株価も9月に4万5千円を超え過去最高値を更新するなど、経済成長の兆しが感じられました。

一方、米不足を背景とした米価格の急騰や、備蓄米放出をめぐる混乱によって、「令和の米騒動」と呼ばれる事態となりました。さらに参議院議員選挙等の結果を踏まえた首相の退陣表明もあり、今後の国政は、新たに発足する政権に委ねられることになりました。

海外では、アメリカの相互関税政策に端を発したサプライチェーンの不安定化により、世界経済の成長鈍化をもたらす懸念があり、特に米中の関係悪化は軽視できない状態になっています。長期化しているロシア・ウクライナ問題や、中東地域の紛争に対する各国の対応も様々で、国際関係はいつでも大きく変わりうる危うさを含んでいます。

地域経済では、人口減少と高齢化による慢性的な労働力不足が、企業活動の停滞を引き起こし、地域経済の縮小を加速させている状況です。また、賃上げの気運の更なる高まりも考えられることから、今後も「ヒト」を中心とした地域の課題解決が必要になります。

このような状況の中、当金庫は地域経済を担う事業者様への積極的な資金繰り支援や、企業価値向上に繋がる本業支援、地域に暮らす方々の生活向上支援に加え、各地方公共団体施策への参画や協力を、積極的に行ってまいりました。

この結果、令和7年9月末現在の業績は、預金残高2,453億6千万円、貸出金残高1,104億1千万円、当期純利益は1億5百万円となりました。金融機関の健全性を示す自己資本比率は、安定した利益の計上により、国内基準4%の5倍を堅持し20.05%となりました。

これもひとえに皆様方のご理解ご協力のお陰と存じ、心から感謝致しますとともに、「迷わず信用金庫する」理念のもとに、中小企業づくり、住民生活づくり、地域社会づくりの『3づくり』で狭域高密着を実践し、今後もお客様の利便性向上と地域社会の繁栄に貢献してまいりますので、何卒よろしくご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

この半期ディスクロージャー誌は、地域金融機関としての情報開示や説明責任を果たす意味で、主要な財務内容や地域活動の状況について開示しているものです。

皆様方におかれましては、是非とも本冊子をご高覧頂き、「だいしん」へのご理解を深めて頂ければ幸甚に存じます。

令和7年11月

会 長 和田 政則
理事長 木村 浩樹

TOPICS　トピックス　2025.4 ▶ 2025.9

4月

1日 **令和7年度新入職員入庫式** Ph1

6日 **鶴崎けんか祭り参加（鶴崎支店）**

23日 **鶴崎デザイン会議勉強会**
（テーマ：「設備資金・脱炭素」に関わる大分市補助金事業説明会）

Ph1

5月

11日 **津留地区河川クリーン活動参加（東大分支店）**

12日 **津久見支店新築移転オープン** Ph2

Ph2

6月

1日 **しんきん「地域応援」キャンペーン実施　（6月30日まで）**

6月

2日　6月雨の日限定「雨・アメ　HAPPY」の実施（6月30日まで）
（雨の日に来店のお客様へ「信ちゃんキャンディ」をプレゼント）Ph3

7日　第27回七瀬川ホタルまつり参加（わさだ支店）

7日　高松宮賜杯軟式野球大分県大会準優勝Ph4

13日　「信用金庫の日」全店一斉清掃ボランティア活動実施
大分県内3金庫合同でお客様感謝デー実施
（花と野菜の種プレゼント）

Ph3

7月

5日　別大デザイン会議 清掃活動

6日　長濱神社夏季大祭参加（府内町支店）

15日　若宮八幡社夏祭り参加（府内町支店）

19日　臼杵祇園祭り・還御行列参加（臼杵支店）

21日　天神さま夢通り参加（西新町支店）

25日　天満社夏季大祭・神輿巡幸参加（本店営業部・西新町支店）

25日　滝尾デザイン会議 大分市議会棟見学

27日　ななせ火群まつり参加（わさだ支店）Ph5

Ph4

Ph5

8月

1日　大分七夕まつり「第41回府内戦紙」出場
3番旗　大分信用金庫・Little－B「踊り部門優秀賞」受賞Ph6

1日、2日　サンサンビアストリート2025（府内町支店）

8、18日　学生向け就業体験「1day仕事体験」開催Ph7

23日　本場鶴崎踊大会参加（鶴崎支店）

23日　滝尾デザイン会議　視察研修バス旅行

Ph6

9月

6日　第69回大分県信用金庫野球大会準優勝

12日　仲秋祭・浜の市参加（西大分支店）

16日　萩原支店を移転し、東大分支店内に店舗内店舗化

19日　金融経済教育「中学生向け職場体験」開催
（大分市立明野中学校2年生）

26日　つくみデザイン会議勉強会Ph8
（テーマ：「津久見でよかった」市民満足度アップへの挑戦）

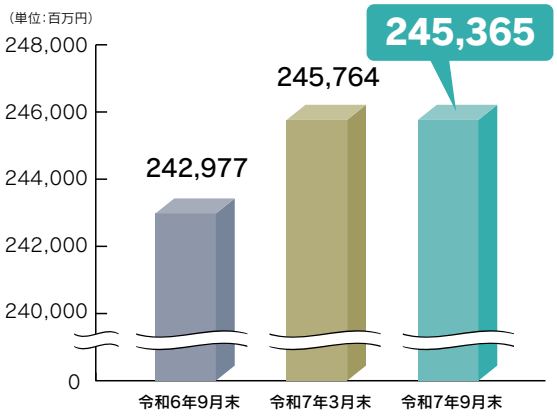
Ph7

Ph8

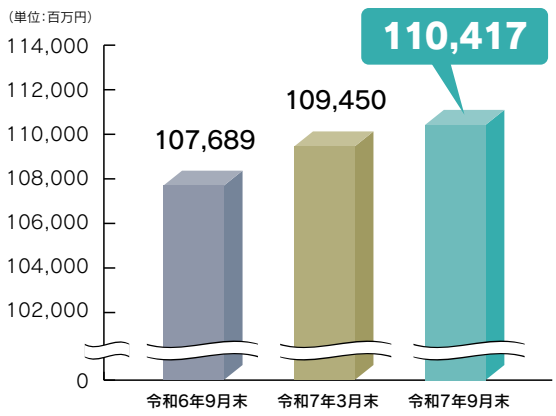
主要な経営指標の推移

預金・積金、貸出金等の推移

預金・積金残高



貸出金残高



(単位:百万円、人)

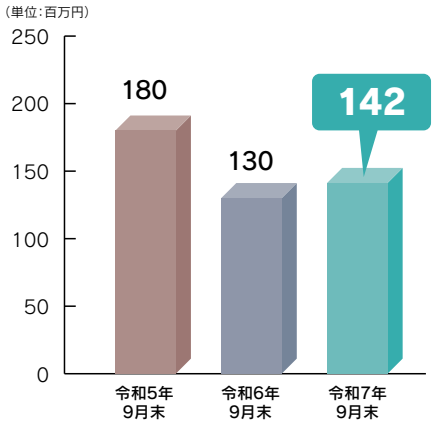
	令和6年9月末	令和7年3月末	令和7年9月末
有価証券残高	65,198	63,483	63,296
預け金残高	82,341	82,474	80,892
総資産額	261,150	261,538	260,783
出資総額	673	671	653
常勤役職員数	209	204	212

注 ・総資産額には債務保証見返は含んでおりません。

収益及び利益等の推移

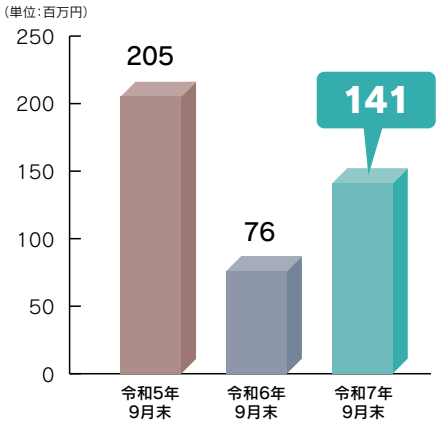
業務純益

業務純益は1億4千2百万円となり、前年同月比1千1百万円増加しました。貸出金利息収入や余資運用収益の増加が主な要因です。



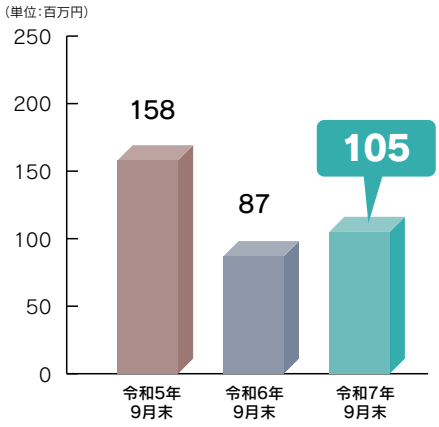
経常利益

経常利益は1億4千1百万円となり、前年同月比6千5百万円増加しました。



当期純利益

当期純利益は1億5百万円となり、前年同月比1千8百万円増加しました。

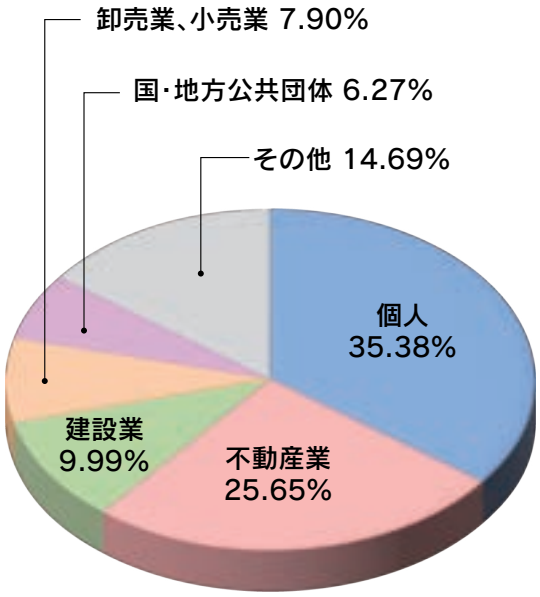


(単位:百万円)

	令和5年9月末	令和6年9月末	令和7年9月末
経常収益	1,579	1,506	1,720
実質業務純益	182	125	142
コア業務純益	182	125	142
コア業務純益(投資信託解約損益除く)	182	125	142

注 1. 業務純益＝業務収益－(業務費用－金銭の信託運用見合費用)業務費用には、例えば人件費のうちの役員退職慰労金等のような臨時的な経費等を含まないこととしています。
また、貸倒引当金繰入額が全体として繰入超過の場合、一般貸倒引当金繰入額(または取崩額)を含みます。
2. 実質業務純益＝業務純益+一般貸倒引当金繰入額
実質業務純益は、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。
3. コア業務純益＝実質業務純益－国債等債券損益
国債等債券売却損益は、国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却を通算した損益です。

貸出金の業種別内訳



貸出金業種別内訳では、不動産業（25.65%）、建設業（9.99%）、卸売業・小売業（7.90%）等の業種が上位となっています。

（単位：百万円、%）

業種区分	令和7年9月末		
	先数	残高	構成比
製造業	170	3,136	2.84
農業、林業	16	382	0.34
漁業	10	142	0.12
鉱業、採石業、砂利採取業	3	341	0.30
建設業	722	11,039	9.99
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-
情報通信業	9	258	0.23
運輸業、郵便業	53	1,390	1.25
卸売業、小売業	530	8,729	7.90
金融、保険業	23	1,608	1.45
不動産業	488	28,331	25.65
物品賃貸業	3	58	0.05
学術研究、専門・技術サービス業	25	205	0.18
宿泊業	9	368	0.33
飲食業	293	1,852	1.67
生活関連サービス業、娯楽業	200	1,849	1.67
教育、学習支援業	24	624	0.56
医療・福祉	44	598	0.54
その他のサービス	343	3,499	3.16
国・地方公共団体	5	6,924	6.27
個人	7,373	39,076	35.38
合計	10,343	110,417	100.00

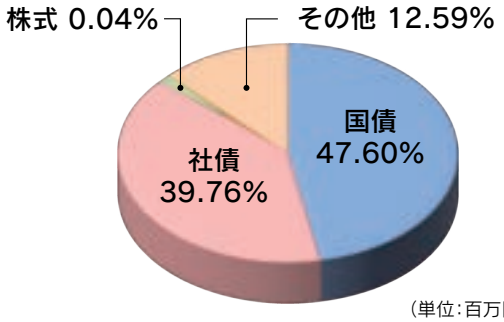
有価証券の時価情報

有価証券の残高の状況

（単位：百万円）
（小数点第3位以下切捨）

種類	貸借対照表計上額	比率（%）
国債	30,131	47.60
社債	25,167	39.76
株式	26	0.04
その他※	7,970	12.59
合計	63,296	100.00

有価証券残高の構成



満期保有目的の債券の評価損益の状況

（単位：百万円）

種類	令和7年3月末					令和7年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	評価差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	時価	評価差額	うち益	うち損
国債	2,393	2,284	△ 108	—	108	2,393	2,263	△ 129	—	129
社債	12,000	11,806	△ 193	0	193	12,000	11,808	△ 191	—	191
その他※	2,000	1,586	△ 413	—	413	2,300	1,859	△ 440	—	440
合計	16,393	15,678	△ 714	0	714	16,693	15,931	△ 761	—	761

その他有価証券の評価損益の状況

（単位：百万円）

種類	令和7年3月末					令和7年9月末				
	貸借対照表計上額	取得原価	評価差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	取得原価	評価差額	うち益	うち損
国債	28,915	33,783	△ 4,867	0	4,867	27,738	33,179	△ 5,441	0	5,441
社債	12,671	14,164	△ 1,493	0	1,493	13,167	14,818	△ 1,651	0	1,651
株式	26	26	—	—	—	26	26	—	—	—
その他※	5,477	5,907	△ 430	24	455	5,670	5,904	△ 234	57	291
合計	47,090	53,882	△ 6,792	24	6,816	46,602	53,929	△ 7,327	57	7,384

※　上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です

自己資本の状況

自己資本の充実の状況について

（単位：百万円、％）

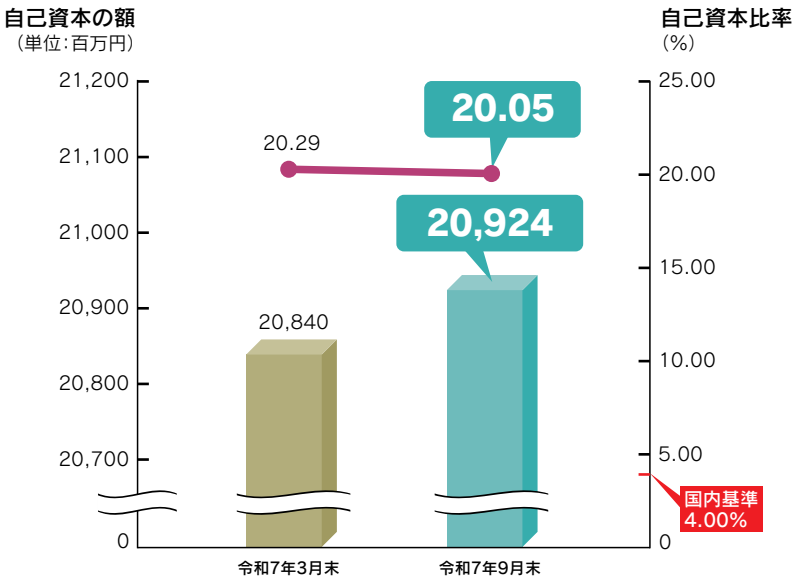
＜自己資本の構成に関する事項＞	令和7年3月末	令和7年9月末
コア資本に係る基礎項目		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	20,772	20,860
うち、出資金及び資本剰余金の額	671	653
うち、利益剰余金の額	20,115	20,207
うち、外部流出予定額（△）	13	―
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	186	184
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	186	184
コア資本に係る基礎項目の額（イ）	20,959	21,045
コア資本に係る調整項目		
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	19	20
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	19	20
前払年金費用の額	99	99
コア資本に係る調整項目の額（ロ）	118	120
自己資本		
自己資本の額（（イ）－（ロ））（ハ）	20,840	20,924
リスク・アセット等		
信用リスク・アセットの額の合計額	98,194	99,812
資産（オン・バランス）項目	96,601	98,296
オフ・バランス取引等項目	1,592	1,516
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	4,512	4,512
リスク・アセット等の額の合計額（ニ）	102,707	104,325
自己資本比率		
自己資本比率（（ハ）／（ニ））	20.29 %	20.05 %

注 ・自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。
なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

自己資本額および自己資本比率について

自己資本額は、209億2千4百万円となり、前期末比8千4百万円増加しました。また、リスクアセット等の合計額は、1,043億2千5百万円となり、前期末比16億1千8百万円増加しました。

自己資本比率は20.05％となり、前期末比0.24ポイント低下しましたが、当金庫の自己資本比率は、国内基準（4％）を大きく上回っており、安心してお取引いただける経営内容となっております。



不良債権への対応について

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

（単位：百万円、％）

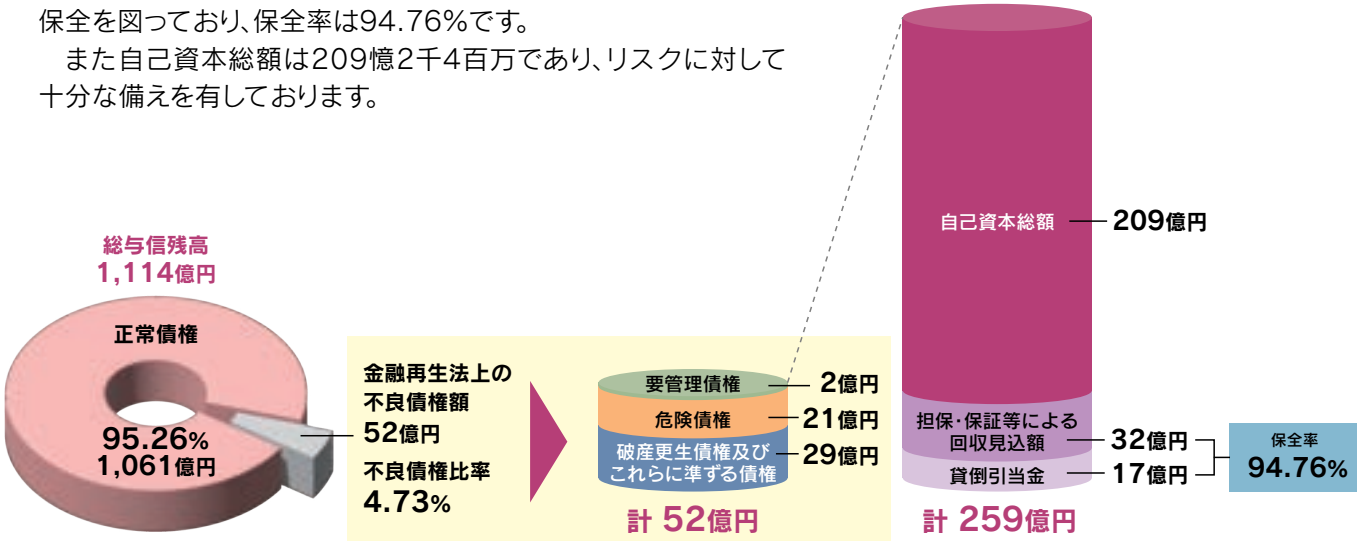
区　分	令和7年3月末 残　高	令和7年3月末 総与信に占める割合	令和7年9月末 残　高	令和7年9月末 総与信に占める割合	期首比 残　高	期首比 総与信に占める割合
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,897	2.62	2,916	2.61	19	△ 0.01
危険債権	2,329	2.10	2,154	1.93	△ 175	△ 0.17
要管理債権	223	0.20	211	0.18	△ 12	△ 0.02
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	223	0.20	211	0.18	△ 12	△ 0.02
小計(A)	5,450	4.92	5,281	4.73	△ 169	△ 0.19
保全額(B)	5,155		5,005		△ 150	
個別貸倒引当金(C)	1,782		1,753		△ 29	
一般貸倒引当金(D)	12		11		△ 1	
担保・保証等(E)	3,361		3,240		△ 121	
保全率(B)／(A)(％)	94.59		94.76		0.17	
引当率((C)+(D))／((A)−(E))(％)	85.90		86.45		0.55	
正常債権(F)	105,120	95.07	106,157	95.26	1,037	0.19
総与信残高(A)＋(F)	110,570		111,439		869	

注 1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
3.「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
4.「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
5.「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
6.「個別貸倒引当金」(C)は、貸借対照表上の個別貸倒引当金の額のうち、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」の債権額に対して個別に引当計上した額の合計額です。
7.「一般貸倒引当金」(D)には、貸借対照表上の一般貸倒引当金の額のうち、要管理債権の債権額に対して引当てた額を記載しております。
8.「担保・保証等」(E)は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
9.「正常債権」(F)とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
10.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表中の貸出金、その他資産中の未収収益及びその他資産並びに債務保証見返の各勘定に計上されるものであります。

信用金庫法・金融再生法上の不良債権とその保全状況

不良債権への対応として、担保・保証等や貸倒引当金によって保全を図っており、保全率は94.76％です。

また自己資本総額は209億2千4百万であり、リスクに対して十分な備えを有しております。



だいしん

シンボルマーク

矢車草

矢車草は日本古来のゆかしい、多くの人に愛されてきた親しみ溢れる草花です。小さな花弁が集まってひとつの花ができているように、人と人との出会いから生まれる小さな輪がだんだんと膨らんで大きく成長し、やがてコミュニティという花を咲かせます。私たちは、この小さな出会いを大切に考え公共性豊かな金融機関として地域社会に奉仕し、よりよい環境づくりの中心になりたいと考えています。信頼される地域のコミュニケーションが私たちの願いです。

だいしん 公式SNS

ぜひフォローをお願いします。

●instagram

「だいしん」や地域の情報に加えて、取引先の紹介を積極的に発信をしております。
@oitashinkin

●X（旧Twitter）

毎日（平日のみ）更新しております。「だいしん」が日常をつぶやいています。
@oitashinkin